

『2012年度版 直前予想 宅建ラストスパート模試【第2版】』
「2012年度 統計問題最新データ」追加発表資料
(該当箇所、本書 p27～p28、赤字が発行時に未発表だったデータ)

1. 土地

土地取引の動向 (2012年版「土地白書」) **6月15日公表**

① 売買による土地取引件数 (土地所有権移転登記の件数) ・ 宅地供給量

売買による土地取引件数	2011年	113.6万件 (前年比1.6%減)
宅地供給量	2012年度	4,600ha (前年比4.5%増)

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
売買による 土地取引件数	141万件	129万件	118万件	115万件	114万件

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
宅地供給量	6,000 ha	5,400 ha	5,200 ha	4,400 ha	4,600ha
公的供給	1,300 ha	1,100 ha	900 ha	900 ha	900ha
民間供給	4,700 ha	4,300 ha	4,300 ha	3,500 ha	3,700ha

② 国土の所有主体別面積 (2012年度版「土地白書」)

2009年度末の国土 (北方領土を除く行政面積) の所有主体別面積 (割合) は、**国公有地が1,067 万 ha (28.6%)**、**私有地が1,625万 ha (43.6%)**、**その他が1,037 万 ha (27.8%)**。

③ 利用の動向 (2012年度版「土地白書」)

2010年度末における我が国の国土面積 (利用現況面積) は、**約 3,779 万 ha** である。このうち、**森林・原野が約 2,507 万 ha (67.1%)** と最も多く、次いで**農用地が約 467 万 ha (12.5%)** となっており、これらで**全国土面積の約 8 割**を占めている。

以上

2012年7月10日 (火)
ネットスクール 編集部